

平成30年度実施 事務事業評価・実施計画

No. 131

Plan

事業名	芸術文化振興			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	統合							
予算科目	一般会計	10款	6項	6目	事業1	290	事業2	601								
担当部署	部	教育委員会事務局			課	スポーツ・文化課										
総合計画体系	めざすまちの姿	7 歴史・伝統・文化を生かし次世代に継承するまち			基本計画	7-②文化・芸術の振興										
事業の目的	市内で活動する芸術文化団体を支援するとともに、市民に芸術文化活動に親しむ機会を提供する。															
事業の概要	芸術文化事業を開催し、芸術文化に触れてもらう機会を提供する。															

Do

事務事業評価

平成 29 年度	事業実績			事業費(千円)	当初予算額	決算額
	財 源 内 訳	国庫支出金	県支出金		市債	その他
①湖西市芸術祭の開催 ・文化の祭典 10月21日～10月25日／入場者1,213人 ・芸能の祭典 11月19日／入場者763人 ・美術の祭典 2月3日～2月7日／入場者3,464人 ・市民文芸の発行 660部		8,284	7,946			
②芸術文化事業公演 入場者883人	国庫支出金	0	0			
③県巡回劇場 入場者528人	県支出金	0	0			
④三遠南信ふるさと歌舞伎交流浜松大会 入場者600人	市債	0	0			
	その他	870	812			
	一般財源	7,414	7,134			

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	湖西市芸術祭入場者数(人)			5,690	5,800	5,440	5,700
判定		判定理由					
必要性	B	市内の文化芸術団体の発表の場を提供しており、参加者・入場者数等が増えてきているが、目標に達しなかった。					
有効性	A	中心団体の活動により、参加する年齢層も広がっている。					
効率性	A	市内の文化団体が中心になって事業を展開しているため、新たな取り組みや参加団体の調整が行いやすい。					
総合評価	A	芸術祭等の開催により、発表の場の提供や多くの市民が文化芸能活動に触れる機会を提供することができ、文化芸術活動を支援することができた。					

Action

今後の方針	内容		
事業費 維持	文化協会の活動の中で、委託事業を展開してもらっているような状況のため、委託費の見直しが必要		

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	①湖西市芸術祭の開催 ・文化の祭典 ・芸能の祭典 ・美術の祭典 ・市民文芸の発行 ②県巡回劇場 ③三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会	①湖西市芸術祭の開催 ・文化の祭典 ・芸能の祭典 ・美術の祭典 ・市民文芸の発行 ②県巡回劇場 ③三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会	①湖西市芸術祭の開催 ・文化の祭典 ・芸能の祭典 ・美術の祭典 ・市民文芸の発行 ②県巡回劇場 ③三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会
事業費(千円)	18,231		